TOSHIBA
Leading Innovation >>>

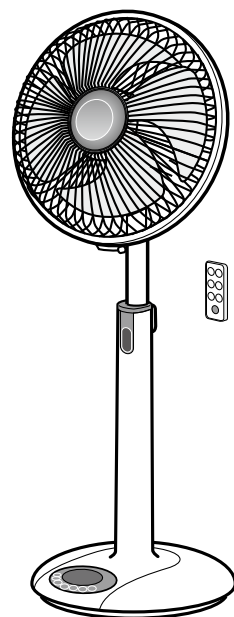
東芝扇風機（家庭用）
取扱説明書

形名
F-LP10

もくじ

日本国内専用
Use only in Japan

保証書付
保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝扇風機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）

警告「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。	**注意**「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

図記号の中の絵や近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。	図記号の中の絵や近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

⚠警告

指示

異常・故障時にはすぐに使用を中止する

（火災・感電・けがの原因）
すぐに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターに点検・修理をご依頼ください。

《異常・故障例》
- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても異常に回転が遅かったり、不規則になったりする。
- 回転するときに異常な音がする。
- モーター部が異常に熱かったり、こげくさかったりする。

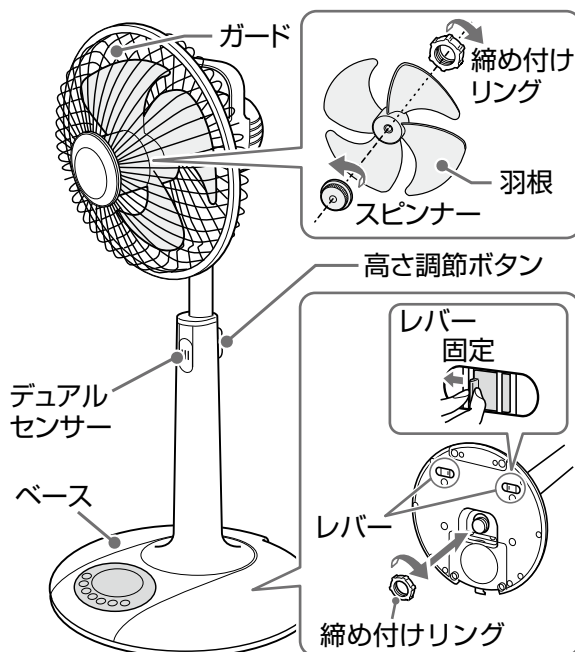
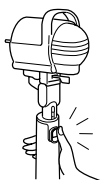
運転・取り扱いは

禁止

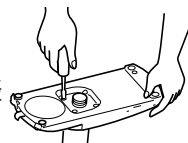
- ●**ベースを付けずに運転しない**
（転倒して、けがの原因）

- ●**羽根・ガードを付けずに運転したり、高さ調節ボタンを押さない**
（けがの原因）
- ●**スプレーなど（可燃性）を吹きつけたり、スプレー缶を近くに置かない**
（可燃性スプレーや化学薬品を近くで使うと火災・爆発の原因）
- ●**デュアルセンサーに、ピンや針金など異物を入れない**
（感電・けが・異常動作の原因）

水ぬれ禁止

- ●**水につけたり、水をかけたりしない**
（ショート・感電の原因）

分解禁止

分解・修理・改造をしない

（火災・感電・けがの原因）
修理はお買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

指示

組み立てるときは、締め付けリング・スピンナーをしっかりと締め、レバーは“固定”側にスライドさせる

（部品がはずれ、けがの原因）

指示

包装用ポリ袋は、幼児の手の届かないところに保管する

（誤ってかぶると、窒息する原因）

⚠警告

電源プラグ・コードは

指 示

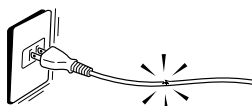
- **電源は交流 100V のコンセントを使う**
  （火災・感電の原因）
- **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
  （感電や発熱による火災の原因）

- **電源プラグの刃や刃の取り付け面にホコリが付いた場合は、乾いた布で拭き取る**
  （絶縁不良による火災の原因）

プラグを抜く

- **組み立てるとき・お手入れをするとき・持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く**
  （感電・けがの原因）

禁 止

- **電源プラグ・コードが傷んだり、熱くなったときや、コンセントの差し込みがゆるい場合は使わない**
  （火災・感電・けが・ショートの原因）
  電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

- **電源プラグ・コードを傷付けない**
  （火災・感電・ショートの原因）
  ・加工しない
  ・熱器具に近づけない
  ・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
  ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- **コードをベースで踏み付けない**
  （火災・感電の原因）

ぬれ手禁止

- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
  （感電・けがの原因）

禁 止

リモコン用のリチウム電池を乳幼児の手の届くところに置かない
（誤って飲み込むと、窒息・体調不良の原因）
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

⚠注意

電源プラグ・コードは

プラグを抜く

- **使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
  （絶縁劣化による火災・感電の原因）

指 示

- **電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って引き抜く**
  （コードを引っ張ると破損し、火災・感電の原因）

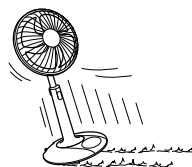
- **コードを巻き取るときは、電源プラグを持って行う**
  （電源プラグが当たってけがの原因）

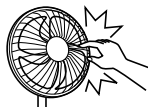
運転・取り扱いは

指 示

- **本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する**
  （羽根やガードがはずれて落下し、けがの原因）

禁 止

- **スライドパイプに油などを付けない**
  （パイプが急に下降して、けがの原因）
- **製品を引きずらない**
  （床に傷が付く原因）

接触禁止

- **入タイマー設定中は、羽根・ガードにさわらない**
  （羽根が回り始め、けがの原因）
  入タイマー設定時間の 10 秒前にブザーと、6 秒前に入タイマー表示「2」の点滅で、運転の開始をお知らせします。
- **ガードの中や可動部へ指や異物を入れない**
  （けが・故障の原因）

禁 止

組み立てた状態では輸送しない
（破損する原因）
輸送するときは、箱に収納してください。

（つづく）

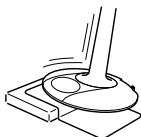
安全上のご注意（つづき）

⚠注意

使用場所について

禁止

●次のようなところでは使わない
（感電や火災の原因）
・ガスレンジなどの炎が当たるところ
・引火性ガスのあるところ
・雨や水しぶきのかかるところ
・高温（40℃以上）、多湿（浴室など）のところ
・油、ホコリ、金属粉の多いところ

●不安定な場所や障害物の近くでは使わない
（転倒し、羽根の損傷・けがの原因）

禁止

長時間、風をからだに当てない
（健康を害する原因）
特にお休み中の乳幼児・お年寄り・ご病気のかたが使用するときは、周囲のかたが十分気をつけてください。

禁止

リモコン用のリチウム電池は

●指定以外の電池は使わない

●極性表示⊕と⊖を間違えて入れない

●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない

●「使用推奨期限」を過ぎたり使い切ったリチウム電池は、リモコンに入れておかない
（液もれ・破裂などで、やけど・けがの原因）
もし液に触れたときは、水でよく洗い流し、医師に相談してください。
器具に付着したときは、液に直接触れないように拭き取ってください。

使用上のお願い

運転・取り扱いについて

■室内の壁コンセント※からの電源以外は使用しないでください
直流電力を交流電力に変換する装置に接続して使用しないでください。発煙・発火の原因になります。

（例：車載用電力変換装置）

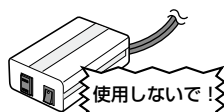
※家庭用電源の代表例であり、壁・床・天井などのコンセントの位置による区別ではありません。

■リモコンに液状のものをかけたり、落としたり、踏んだりしないでください
故障の原因になります。

■ガードは無理に正面へ戻さないでください
破損の原因になります。
風向調節（→ 14 ページ）の範囲で正面に戻らないときは、首振り運転させて戻してください。

■保護ネットをガードに取り付けないでください
ガードの中に吸い込まれることがあり、羽根の損傷やけがの原因になります。

■デュアルセンサーをふさがないでください
デュアルセンサーが温度・湿度を正常に感知しなかったり、故障の原因になります。

■スプレー（掃除用・殺虫用・整髪用など）をかけないでください
デュアルセンサーが温度・湿度を正常に感知しなかったり、故障の原因になります。

お手入れをするときは

■中性洗剤溶液は、洗剤容器の表示に従って水で薄めて使用してください

■ベンジン・シンナー・アルコール・クレンザー・アルカリ性洗剤を使わないでください
乾いた布で強くこすったり、ベンジン・シンナー・アルコール・クレンザー・アルカリ性洗剤を使ったりしないでください。
表面の傷付きや、変質・変色・塗装はがれの原因になります。化学ぞうきんを使うときは、注意書に従ってください。

■運転停止後は、モーター軸が熱くなっていますので、お手入れは 30 分程度待ってから行ってください

30 分
待って！

■羽根・ガードなどに強い衝撃を与えないでください
破損の原因になります。

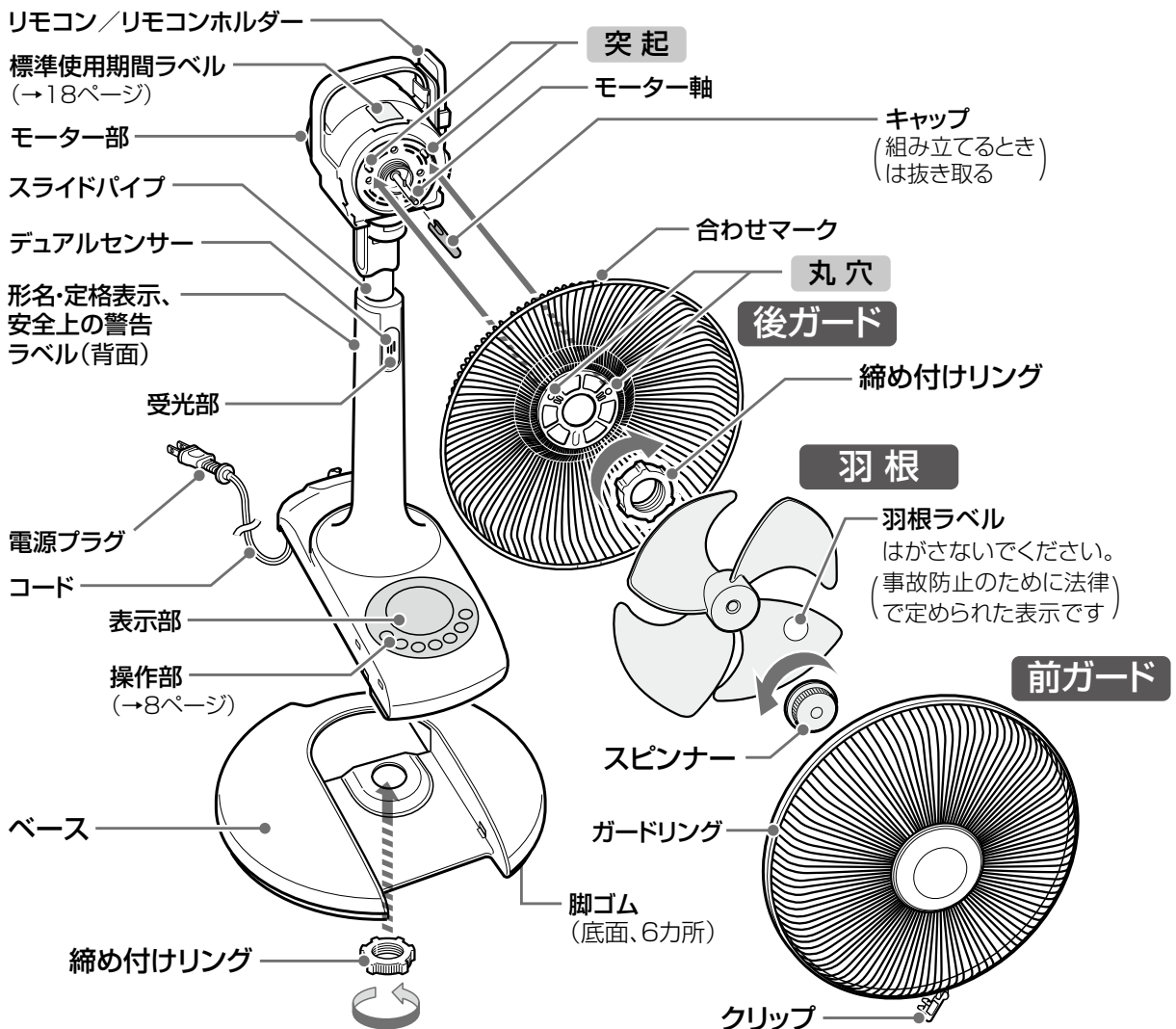
使用場所について

■カーテンの近くや洗濯物の下で使わないでください
ガードの中に吸い込まれることがあり、羽根の損傷やけがの原因になります。

■テレビ・ラジオ・補聴器などの近くで使わないでください
電波が弱いときや室内アンテナを使っているときに、雑音が入ることがあります。影響のないところまで離してください。

各部のなまえ

● 製品が入っていた梱包箱・包装部品やモーター軸のキャップは、収納時に必要です。なくさないようご注意ください。

締め付けリング(2個)／スピンナー／リモコン(電池内蔵)／リモコンホルダーはポリ袋に入っています。 ポリ袋は収納時にお使いください。

組み立てかた

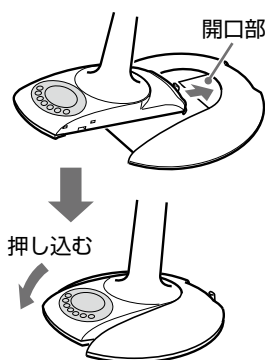
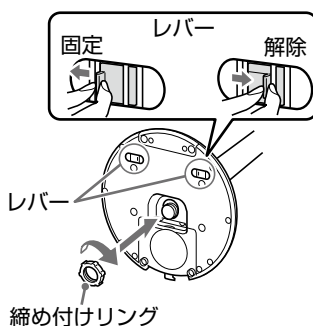
羽根・ガードを付けずに運転したり、高さ調節ボタンを押さない
（けがの原因）

コードをベースで踏み付けない
（火災・感電の原因）

組み立てるとき・お手入れをするとき・持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く
（感電・けがの原因）

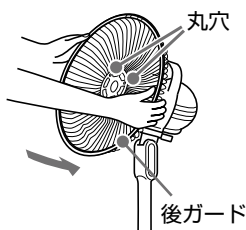
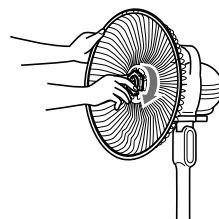
支柱は単体では立ちません。組み立て前は横向きに倒してください。

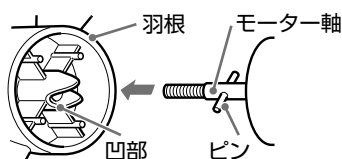
1 支柱をベースに取り付ける

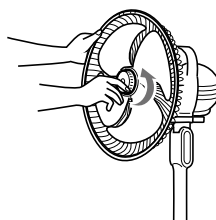
①支柱をベースの開口部にはめ込む
- コードをはさみ込んだり、ベースで踏み付けたりしないようご注意ください。

②支柱とベースを手で押さえながら横に倒し、左右のレバーを“**固定**”側に「カチッ」と音がするまでスライドさせる

③締め付けリングを右方向に回し、しっかり締め付ける

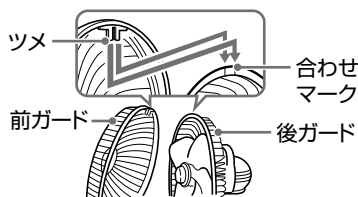
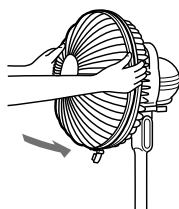
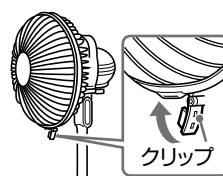
2 キャップを抜き取り、後ガードをモーター部に取り付ける

①キャップを抜き取る

②モーター部を少し上に向け、突起に後ガードの丸穴をはめ込む

③締め付けリングを右方向に回し、しっかり締め付ける

3 羽根を取り付ける

①モーター軸のピンに羽根の凹部を合わせて差し込む

②スピンナーを左方向に回し、締め付ける

手で羽根を回し、スピンナーが落ちないことを確認してください。

4 前ガードを取り付ける

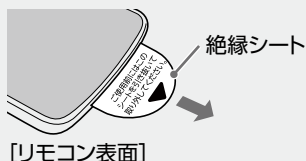
①前ガードのツメを、後ガードの「合わせマーク」に合わせてはめ込む

②前ガードを後ガードにかぶせるように、上から順にはめ込む

③クリップを強く押し込んで固定する

前ガードがはずれないことを確認してください。

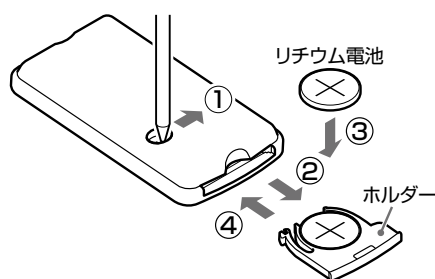
ご使用の前に

- **指定以外の電池は使わない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて入れない**

（液もれ・破裂などで、やけど・けがの原因）
もし液に触れたときは、水でよく洗い流し、医師に相談してください。
器具に付着したときは、液に直接触れないように拭き取ってください。

リモコンの絶縁シートを矢印の方向に引き抜いてください。

- リチウム電池は工場出荷時から、リモコンに入っています。自己放電のため、寿命が 1 年以下になっている場合があります。

電池交換のしかた

①リモコン裏側の穴にボールペンの先などを差し込み、矢印の方向へスライドさせる
②①の状態のまま、ホルダーを矢印の方向へ引き出し、古いリチウム電池を取りはずす
③新しいリチウム電池（CR2025）の⊕を上側にして、ホルダーにのせる
④ホルダーを「カチン」と音がするまで押し込む

お願い

- 長期間使わないときは、リモコンからリチウム電池を取り出してください。（液もれの原因になります）
- 液がもれたときは、液をよく拭き取ってから新しいリチウム電池に交換してください。
- リチウム電池を廃棄する場合は、お住まいの地域のゴミ分別方法に従ってください。（廃棄する際に、上面と下面をセロハンテープなどで包んでください）

使いかた

● 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

操作部 全ての内容を表示しています。

風量表示
- ゆっくり
- 弱
- 中
- 強

→ 9 ページ

センサー運転モード表示 → 10 ページ

自動表示 → 10 ページ

羽根マーク → 9 ページ

湿度サイン（目安）
お部屋の湿度（目安）を表示します。

高湿	湿度 約 70% 以上のとき
適湿	湿度 約 40 ～ 70% 未満のとき
低湿	湿度 約 40% 未満のとき

チャイルドロック表示 → 13 ページ

室温表示（目安）
41℃以上は「Hi」
19℃以下は「Lo」

TOSHIBA
センサー運転
弱め 標準 強め
自動
高湿 適湿 低湿
チャイルドロック
室温（目安）
切 124 入 246
チャイルドロック 3秒長押し
リズム 連続 首振り 運転 切/入 センサー 切タイマー 入タイマー

入タイマーボタン → 12 ページ

リズム風ボタン → 9 ページ

切タイマーボタン → 11 ページ

連続風ボタン → 9 ページ

センサー運転ボタン → 10 ページ

首振りボタン → 9 ページ

入タイマー表示 → 12 ページ

切タイマー表示 → 11 ページ

運転 切 / 入ボタン → 9 ページ

リモコン

運転 切 / 入ボタン
ボタンの輪郭が蓄光式のため、光を当てておくと、暗いところでもしばらくの間はボタンの位置がわかります。

室温表示(目安)と湿度サイン(目安)について

- 室温表示と湿度サインは目安です。
  同じ室内でも場所により温度・湿度が異なるため、お部屋の温度計・湿度計と差が出ることがあります。
- 運転中以外は表示しません。
- 運転開始から 30 分程度は、室温表示・湿度サインがお部屋の温度・湿度と異なる場合がありますが、徐々にお部屋の温度・湿度に近づいてきます。

運転 切 / 入ボタン

- 押すたびに運転が「入」または「切」に切り換わります。
- 「入」のときは「ピッ」、「切」のときは「ピー」と鳴ります。
- 電源プラグを差し込んで最初に押したとき、「ゆっくり」の連続風になります。お好みの風量で運転したいときは、連続風ボタンかリズム風ボタンを押してください。
- 温度・湿度により、室温表示（目安）と湿度サイン（目安）が変化します。
- 羽根マークが点灯します。

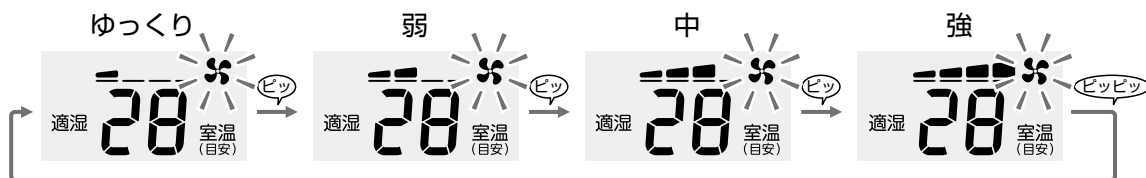
連続風ボタン

- 押すたびに風量表示が変化し、風量が切り換わります。
- 温度・湿度により、室温表示（目安）と湿度サイン（目安）が変化します。
- 羽根マークが点灯します。

※リズム風にしたいときは、リズム風ボタンを押してください。

リズム風ボタン

風量に変化をつけた、リズミカルな風を送ります。

- 押すたびに風量表示が変化し、風量が切り換わります。
- 温度・湿度により、室温表示（目安）と湿度サイン（目安）が変化します。
- 羽根マークが点滅します。
- 「ゆっくり」と「弱」のときは運転と停止を繰り返すため、羽根がときどき止まることがありますが３秒以内であれば異常ではありません。
- 羽根が前後に動いたり、カタカタと音がすることがありますが、異常ではありません。

※連続風にしたいときは、連続風ボタンを押してください。

首振りボタン

- 押すたびに首振り運転が「入」または「切」に切り換わります。
- 「入」のときは「ピッ」、「切」のときは「ピッピッ」と鳴ります。

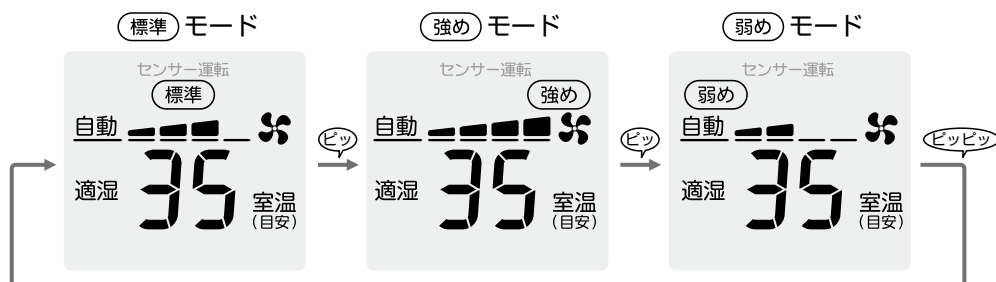
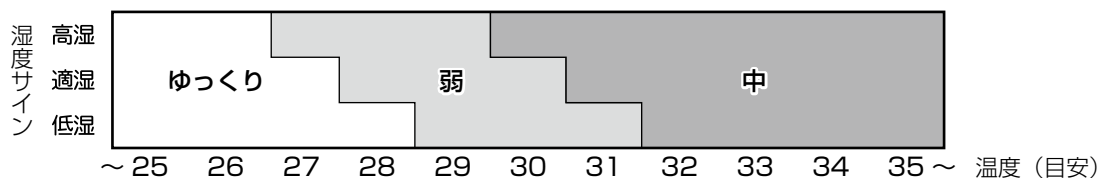
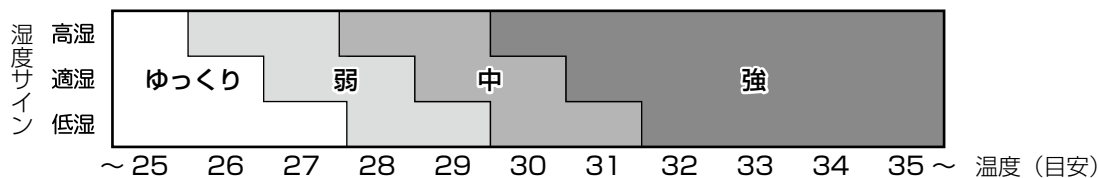
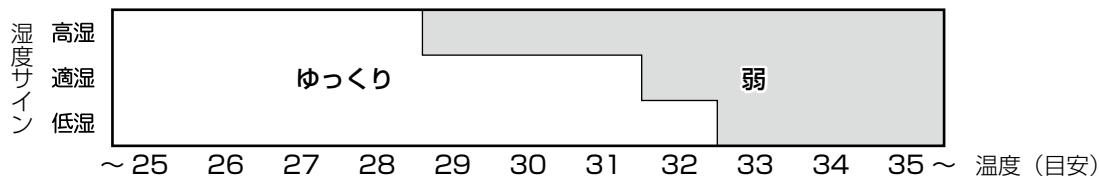
（つづく）

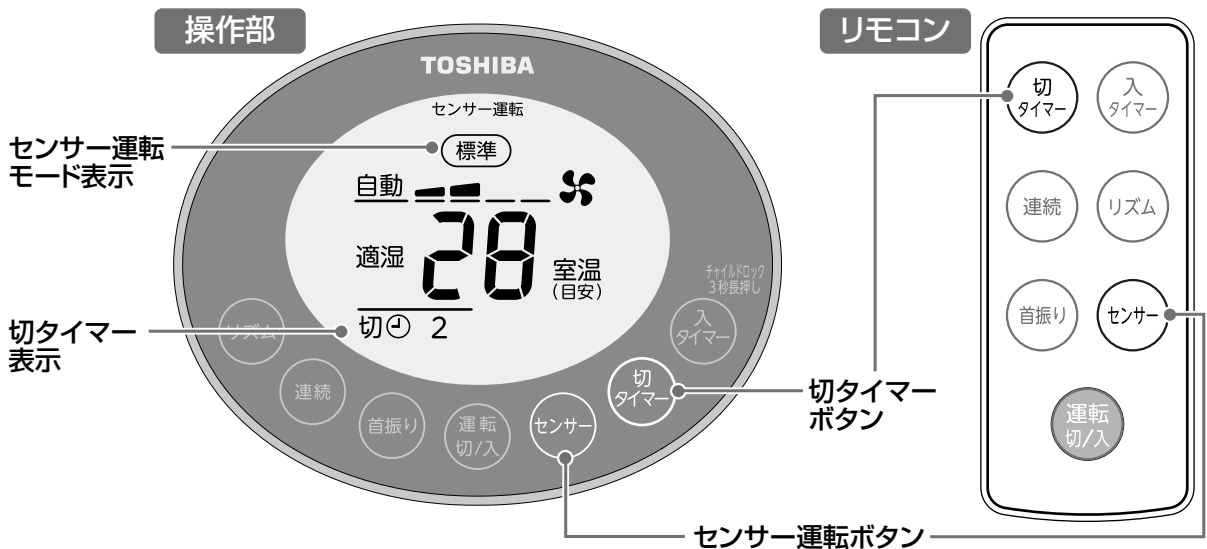
使いかた（つづき）

センサー運転ボタン

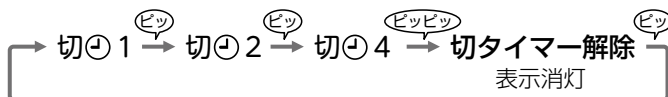
デュアルセンサーが温度･湿度を感知し、それに応じて設定されている風量で自動的に運転します。

●押すたびにセンサー運転モード表示が変化し、センサー運転が切り換わります。
●自動表示と羽根マークが点灯します。

例：室温 35℃、適湿のとき

●温度・湿度によって、以下のように風量が切り換わり、連続風で運転します。

室温表示と湿度サインは目安です。
同じ室内でも場所により温度・湿度が異なるため、お部屋の温度計・湿度計と差が出ることがあります。

●センサー運転中は、風量の設定やリズム風はできません。
※お好みの風量で運転したいときは、連続風ボタンかリズム風ボタンを押してください。

切タイマーボタン

運転中に押すと、運転を停止するまでの時間（1 時間、2 時間、4 時間）を設定できます。

●押すたびに、切タイマー表示が切り換わります。

切タイマー表示が消灯するか、運転を停止すると、切タイマーは解除されます。

●時間の経過とともに切タイマー表示が切り換わり、残り時間の目安が表示されます。

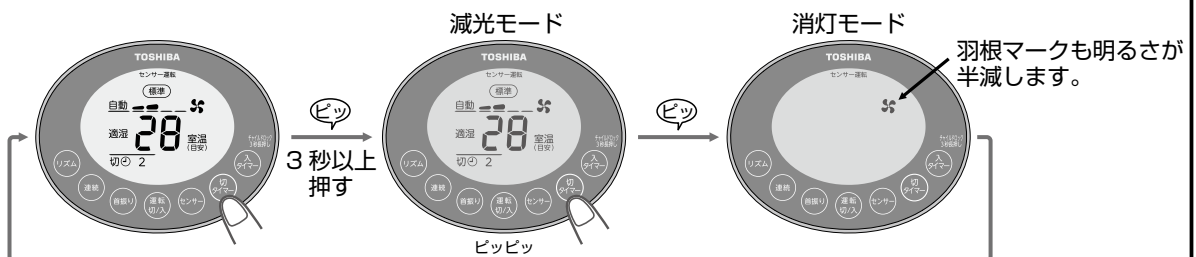
●設定された時間の半分を過ぎると自動的に、連続風のときは「弱」の連続風に、リズム風のときは「弱」のリズム風になります。（「ゆっくり」と「弱」のときは切り換わりません）

減光モードと消灯モード

……おやすみのときなどに

運転中、本体操作部の切タイマーボタンを 3 秒以上押すと、表示が切り換わります。
そのまま押し続けると、1 秒ごとに切り換わります。（リモコンの切タイマーボタンでは設定できません）

●減光モード……表示の明るさが半減します。

●消灯モード……羽根マーク以外が消灯します。

●消灯モード中に運転 切 / 入ボタン以外のボタンを押すと、表示部が点灯します。
このときは、点灯するだけで運転の切り換えは受け付けません。運転を切り換えたいときは、続けてボタン操作してください。約 10 秒間ボタン操作を行わないと、消灯モードに戻ります。

●消灯モード中にチャイルドロックを設定すると、チャイルドロック表示が点灯します。（明るさは、半減します）

●減光モードまたは消灯モードを解除したいときは、本体操作部の切タイマーボタンを 3 秒以上押して、表示の切り換えを行ってください。

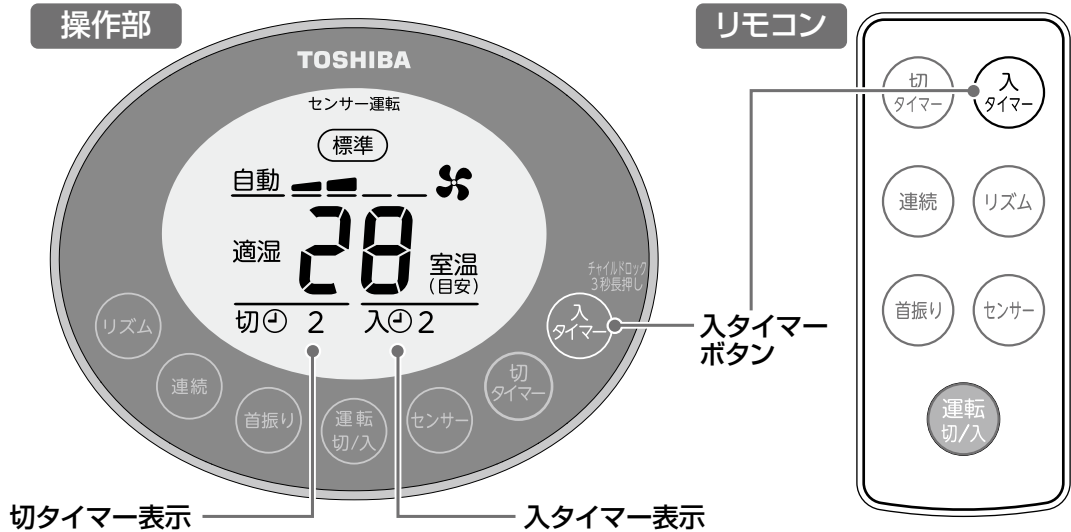
●運転 切 / 入ボタンを押し、運転を停止したときも解除されます。

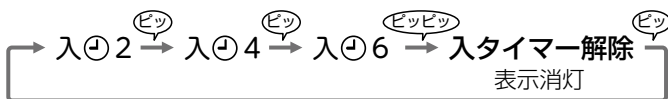
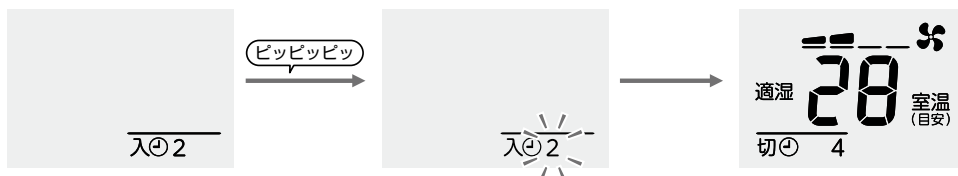
●切タイマーによって運転が停止したときも解除されます。

（つづく）

使いかた（つづき）

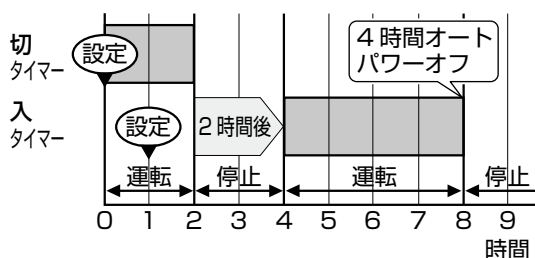
⚠注意

入タイマー設定中は、羽根・ガードにさわらない
（羽根が回り始め、けがの原因）
入タイマー設定時間の 10 秒前にブザーと、6 秒前に入タイマー表示「2」の点滅で、運転の開始をお知らせします。

入タイマーボタン

運転停止中または運転中に切タイマーを設定した後に、運転を開始するまでの時間（2 時間、4 時間、6 時間）を設定できます。（切タイマー設定時は、運転停止してから再び運転するまでの時間）
●電源プラグをコンセントに差し込んでおいてください。
●押すたびに、入タイマー表示が切り換わります。

入タイマー表示が消灯するか、運転 切 / 入ボタンを押すと、入タイマーは解除されます。
●時間の経過とともに入タイマー表示が切り換わり、残り時間の目安を表示します。
●設定された時間の 10 秒前にブザー（ピッピッピッ）と 6 秒前に入タイマー表示「2」の点滅で、運転の開始をお知らせします。
●入タイマー設定時間になると、「弱」の連続風で運転を開始します。
●前回の運転で停止する前に首振り運転していた場合は、首振り運転で運転を開始します。

切・入タイマーの連続設定

運転中、切タイマーの設定後に、入タイマーを設定することで、運転停止と運転開始を連続して設定できます。

●入タイマーの設定後に、切タイマーを設定することはできません。
●切タイマーを解除すると、入タイマーも解除されます。

《連続設定の例》
切タイマーを２時間に設定し、１時間後に入タイマーを２時間に設定したとき

入タイマーを設定したタイミングにかかわらず、入タイマーのカウント開始は**切タイマーで運転を停止してから**になります。

メモリー機能

運転停止後、運転 切／入ボタンを押すと、停止する前の運転状態で運転します。

●切・入タイマー時間、減光モード、消灯モードはメモリーされません。
●切タイマーで自動的に風量が「弱」になって運転を停止したときは、「弱」になる前の風量をメモリーします。
●停電や電源プラグを抜き差しすると、メモリーは解除されます。

お知らせ

●運転を停止しても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると約0.5Wの電力を消費します。操作部が温かくなりますが、異常ではありません。お使いにならないときは、電源プラグを抜いてください。
●使い始めなど、運転時にモーター部からにおいがすることがありますが、ご使用により徐々に少なくなります。

お願い

●切タイマーや入タイマーを設定しているときは電源プラグをコンセントから抜かないでください。切・入タイマーの設定は、停電や電源プラグをコンセントから抜き差しすると、解除されます。

４時間オートパワーオフ機能

入タイマーで運転開始後、４時間経過すると、自動的に運転を停止します。

●入タイマーで運転開始すると切タイマー表示「切◷4」が点灯し、時間の経過とともに切タイマー表示が切り換わって、残りの運転時間の目安を表示します。
●４時間オートパワーオフ機能を解除したいときは、切タイマーボタンを押し、切タイマー表示を消灯してください。

チャイルドロック機能（お子様のいたずらや誤操作を防ぎます）

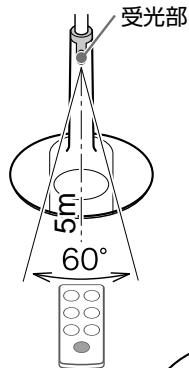
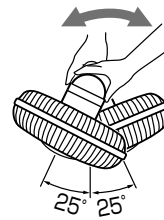
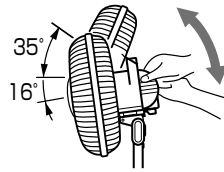
リモコンの入タイマーボタンで設定・解除はできません

●運転中に約３秒間押すと、運転停止以外の操作ができなくなります。
・「ピッ」と鳴り、チャイルドロック表示が点灯します。
・設定後に入タイマーボタン以外のボタンを押すと「ピッピッピッピッ」と鳴り、チャイルドロック表示が点滅します。
・次回運転を開始するときは、チャイルドロックを解除してください。
●運転停止中に約３秒間押すと、チャイルドロック解除以外のすべての操作ができなくなります。
・「ピッ」と鳴り、チャイルドロック表示が点灯します。
●解除するときは、再度約３秒間押してください。
・「ピッピッ」と鳴り、チャイルドロック表示が消灯します。

（つづく）

使いかた（つづき）

リモコンの操作について

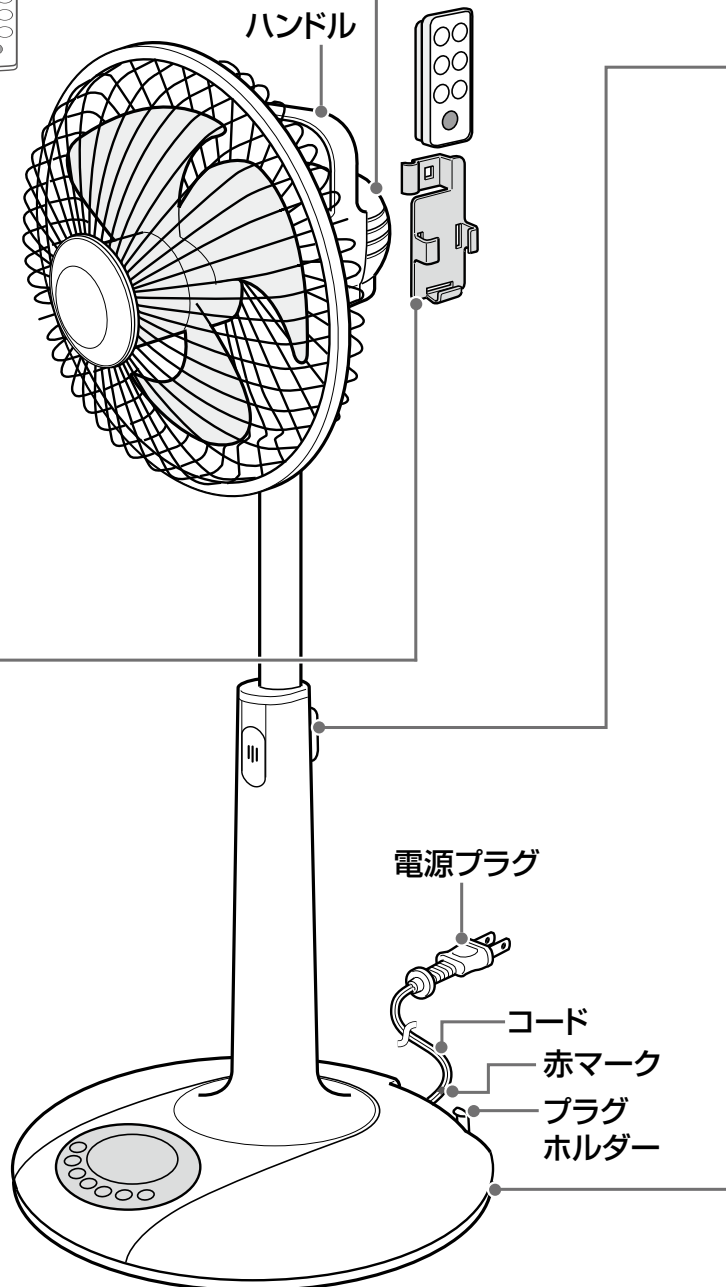
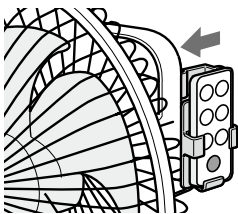
●リモコンは受光部に向けて操作します。
●操作可能範囲は、受光部正面から約5m、左右に約60°以内です。
●電池が消耗して動作しにくくなったら、新しい電池に交換してください。

お願い

●受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。
動作しにくい場合があります。

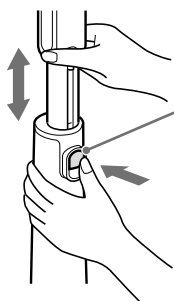
リモコンホルダー

リモコンを使用しないときは、リモコンホルダーに収納してください。

● **リモコンホルダーの取り付け**

ハンドルに取り付けます

※調節時は可動部に
指をはさまないように
気をつけてください。

高さを調節するとき……

高さ調節ボタンを押しながら、スライドパイプの上部を持って調節してください。

高さ調節ボタン
（安全のため、操作力は若干強くなっています。）

※調節時は可動部に指をはさまないよう気をつけてください。

コードリール

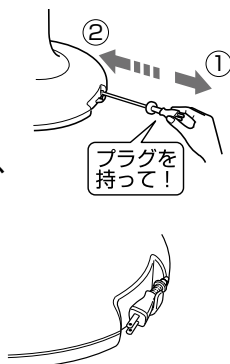
●**コードを引き出すときは**
電源プラグをプラグホルダーからはずして引き出します。

お願い
コードは赤マーク以上引き出さないでください。
断線の原因になります。

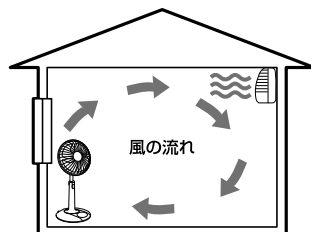
●**コードを巻き取るときは**

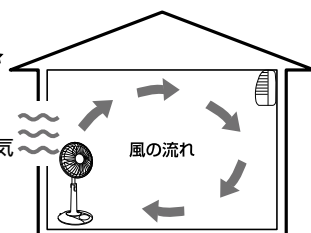
1.電源プラグを持つ
電源プラグがはね上がるのを防ぎます。

2.コードを少し引き出し、ゆっくりと戻すようにして巻き込む

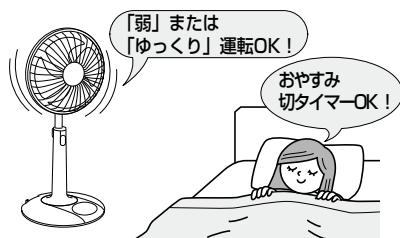
3.電源プラグをプラグホルダーにはさみ込む

上手な使いかた

上向き気流でお部屋の空気を上手に循環

夏はエアコンと併用して省エネ快適冷房。
冬の暖房時には天井付近の暖かい空気を循環させて暖房効率を高めます。

夜間は

窓際に置いて、外の冷たい空気を取り入れましょう。

おやすみのときは

寝冷えを防ぐため、「ゆっくり」か「弱」で首振り運転（→8、9ページ）し、切タイマーを設定しましょう。
切タイマー設定後、お目覚めのころに合わせた入タイマーを設定しておくと便利です。
（→12ページ）

●おやすみ中は、風が長時間からだに当たらないように気をつけてください。

お手入れと収納

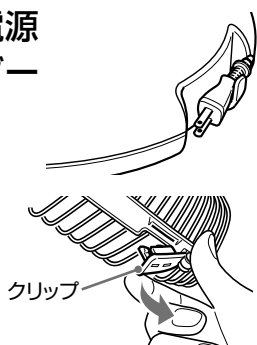
取りはずしかた

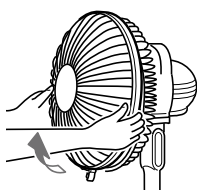
首振り運転（→９ページ）をしてガードを正面に向けてから運転を停止し、電源プラグを抜き、組み立てと逆の手順ではずします。

1 コードを巻き取り、電源プラグをプラグホルダーにはさみ込む

（→ 15 ページ）

2 前ガードをはずす

①クリップをはずす

クリップ

②ガードリングを両手で手前に引くようにして、前ガードをはずす
（クリップを引っ張ると破損の原因になります）
（→７ページ　手順 4）

3 組み立てかたと逆の手順で、羽根・後ガードをはずす

（→７ページ　手順 3、
６ページ　手順 2）

4 取り付けと逆の手順で、締め付けリングを左方向に回してはずし、ベース裏の左右レバーを“解除”側にスライドして支柱をはずす

（→６ページ　手順 1）

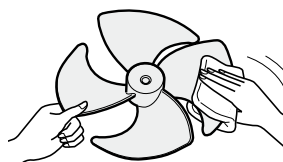
●ベースを押さえながら支柱をはずしてください。

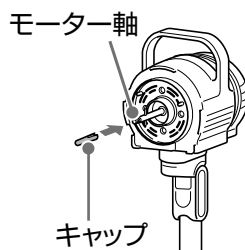
お手入れのしかた

羽根・本体

①水に浸してかたく絞ったやわらかい布で、よごれを拭き取る
②乾いた布で水分を拭き取る

よごれがひどいときは

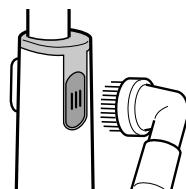
①中性洗剤溶液に浸してかたく絞ったやわらかい布で、よごれを拭き取る
②洗剤が残らないよう、水で絞った布で十分に拭き取る
③乾いた布で水分を拭き取る

モーター軸

よごれを拭き取り、ミシン油を塗ってキャップをかぶせる。

デュアルセンサー

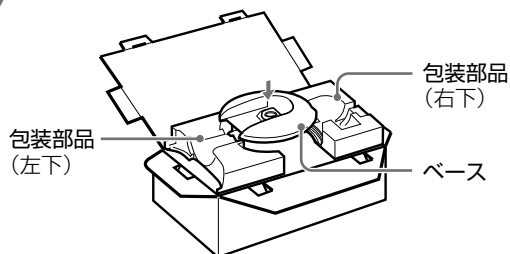
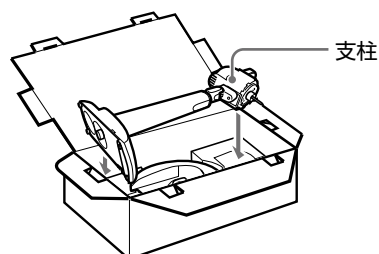
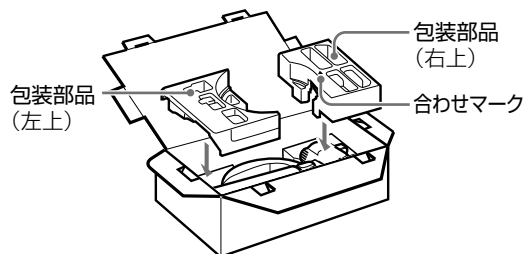
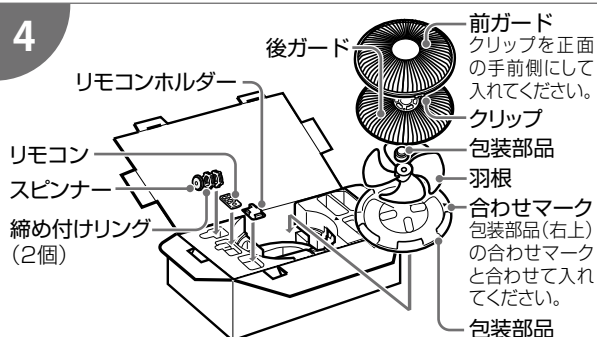
１カ月に１度を目安に

掃除機でよごれを吸い取ってください。
よごれがひどくなると温度･湿度を正常に感知しなくなったり、故障の原因になります。

お願い

- 中性洗剤溶液は、洗剤容器の表示に従って水で薄めて使用してください。
- 乾いた布で強くこすったり、ベンジン･シンナー･アルコール・クレンザー・アルカリ性洗剤を使ったりしないでください。
  表面の傷付きや、変質・変色・塗装はがれの原因になります。化学ぞうきんを使うときは、注意書に従ってください。
- 運転停止後は、モーター軸が熱くなっていますので、お手入れは 30 分程度待ってから行ってください。
- 羽根・ガードなどに強い衝撃を与えないでください。破損の原因になります。

組み立てるとき・お手入れをするとき・持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く
（感電・けがの原因）

収納のしかた

以下の順番に収納して保管してください。

仕様

形名	F-LP10	
	50Hz	60Hz
電源	交流 100V　50/60Hz 共用	
消費電力 *	35W	37W
風速 *	185m/min	195m/min
風量 *	38m³/min	41m³/min
質量	約 5.1kg	
首振り角度	90°	
コードの長さ	約 1.7m（コードリール式）	
付属品	リモコン・リチウム電池（CR2025）	

＊風量「強」の場合です。

●運転停止状態の本体の消費電力は約 0.5W です。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

故障かな？と思ったとき

ご使用中に異常が生じたときは、修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
支柱がベースからはずれない	●ベースの裏側のレバー（2 カ所）をスライドして解除にしてください。	16
羽根が回らない	●電源プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●羽根とガードが当たっていませんか。	7,8
羽根がときどき止まる	●「ゆっくり」か「弱」のリズム風に設定されていませんか。 「ゆっくり」か「弱」のリズム風は運転と停止を繰り返しているため、ときどき羽根が止まることがありますが､３秒以内であれば異常ではありません。	9
羽根は回るが異常な音がする	●羽根はスピンナーでしっかりと取り付けられていますか。 ●ガードはしっかりと取り付けられていますか。 ●羽根とガードが当たっていませんか。	7
	●リズム風に設定されていませんか。 リズム運転時、羽根が前後に動いたり、カタカタと音がすることがありますが、異常ではありません。	9
ボタン操作を受け付けない	●チャイルドロックが設定されていませんか。	13
リモコンで操作できない	●受光部に向けて操作していますか。	14
	●電池が消耗していませんか。 ●電池の入れかた（ ⊕ ⊖の方向）が間違っていませんか。	7
入タイマーが設定できない	●電源プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●入タイマーは停止状態か切タイマー設定中のみ設定できます。	12
運転が自動的に止まる	●切タイマーを設定していませんか。	11
	●入タイマーで運転を開始しませんでしたか。 入タイマー運転開始後、４時間経過すると自動的に運転を停止します。	13
室温表示と湿度サインがお部屋の温度計・湿度計と違う	●同じ室内でも場所により温度・湿度が異なるため、お部屋の温度計・湿度計と差が出ることがあります。 室温表示と湿度サインは目安としてお使いください。	8
停電後、正常な運転ができない	●電源プラグを抜いて差し直してください。	−
コードが巻き取りにくい	●コードを赤マークまで引き出し、ねじれを直してから再度巻き込んでください。	15

上の表に従って調べていただいても原因が分からないときや、その他の異常や故障があるときは、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターに修理をご依頼ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で、義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

⚠
製造年　2012 年
設計上の標準使用期間 10 年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件

日本電機工業会自主基準 HD-116-3 による

環境条件	電圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置条件	標準設置　＊１
負荷条件		定格負荷（風速）＊２

想定時間等	1 日あたりの使用時間	8（時間 / 日）
	1 日使用回数	5（回 / 日）
	1 年間の使用日数	110（日 / 年）
	スイッチ操作回数	550（回 / 年）
	首振り運転の割合	100%

＊１：製品の取扱説明書による（水平で安定した場所）　＊２：製品の取扱説明書による

- 温度 30℃、湿度 65%は、JIS C 9601 の試験状態を参考としています。
- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、10 年より短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-76**
受付時間：365日　9:00～20:00
携帯電話・PHSなど　**022-774-5402（通話料：有料）**
FAX　**022-224-6801（通信料：有料）**

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

● 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されております。
● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
● **保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。**
● 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき、無料修理となります。無償商品交換ではありません。

補修用性能部品の保有期間

● 扇風機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 8 年です。
● 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
● 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

● 18 ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、運転 切 / 入 ボタンを押して運転を停止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ		
	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）

愛情点検

長年ご使用の扇風機の点検を！

定期的に「安全上のご注意」「お願い」を確認してご使用ください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ホコリなどの影響により部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか。
電源プラグやコンセントにたまっているホコリは取り除いてください。

● スイッチを入れても羽根が回らない。
● 羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則になったりする。
● 回転するときに異常な音がする。
● モーター部が異常に熱かったり、こげくさかったりする。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝扇風機保証書

持込修理

形名	F-LP10		
★お客様 お名前	ふりがな 様		
ご住所	〒□□□-□□□□		
電話	市外	市内	番号 呼
保証期間 本体	1年	★お買い上げ日 年 月 日から	
★ご販売店	住所・店名 電話		

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝ホームテクノ株式会社 家電事業統括部
〒959-1393 新潟県加茂市大字後須田2570-1
電話（0256）53-2847

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理·改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）車両・船舶などに、備品として使用した場合に生ずる故障および損傷。
   （ト）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝生活家電ご相談センターへご相談ください。

修理メモ 修理年月日	修理内容	担当
年 月 日		
年 月 日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ホームテクノ株式会社
家電事業統括部
〒959-1393 新潟県加茂市大字後須田2570-1

THT-TTTO（TG）